

2021年4月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2021年1、2月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる
長野県内景気	厳しい状況が続いているが、一部に持ち直しの動きがみられる
1月の生産動向	生産は持ち直している
2月の個人消費	大型小売店売上高は5カ月ぶりに前年を下回る
2月の公共投資	公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を上回る
2月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を上回る
2月の雇用情勢	有効求人倍率は6カ月連続で前月を上回る
今後は、新型コロナによる所得・雇用環境への影響と、個人消費の動向を注視する必要がある	

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

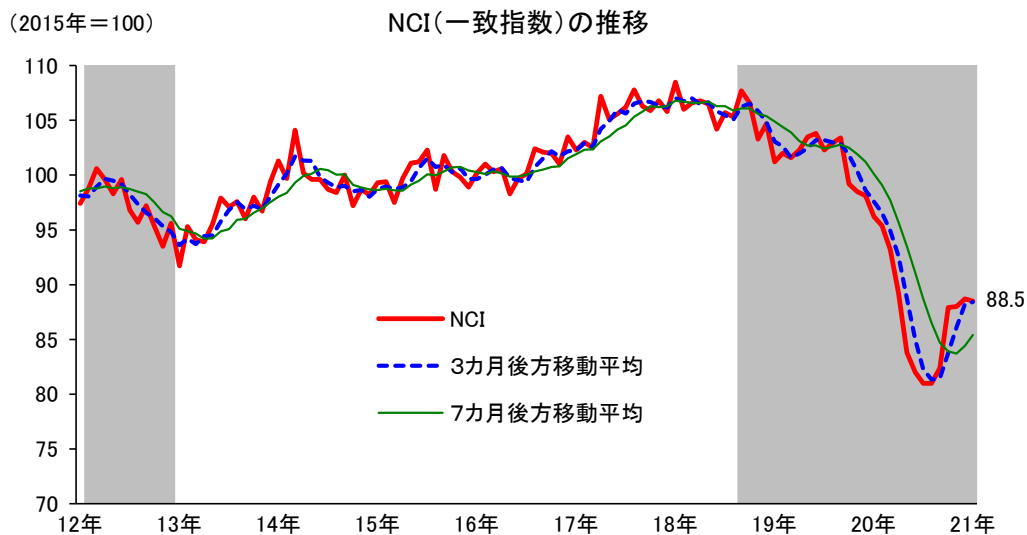
担当 桑井、中村

電話 026-224-0501

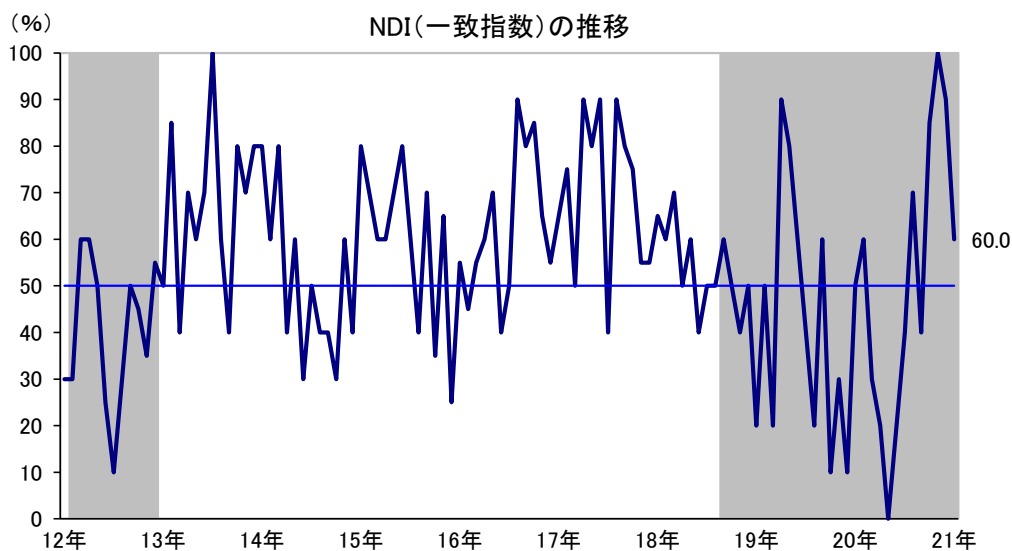


景気動向指数

- ・1月のNCI(一致指数)は、88.5と前月と比較し△0.2ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+0.2ポイントと5カ月連続で上昇した。7カ月後方移動平均は同+1.0ポイントと2カ月連続で上昇した。NCI(一致指数)は、下げ止まりを示している。
- ・NDI(一致指数)は60.0%となり、4カ月連続で景気判断の分かれ目となる50.0%を上回った。



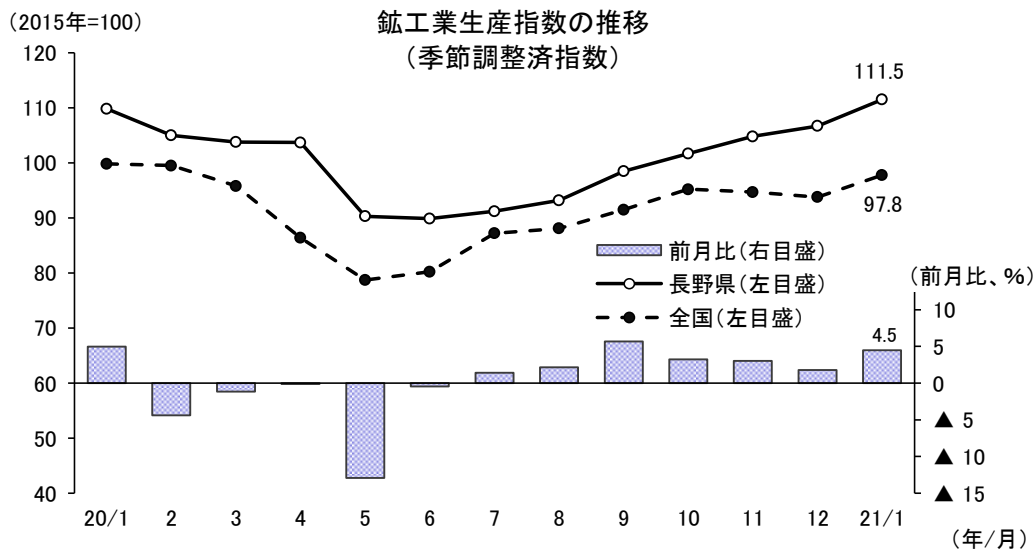
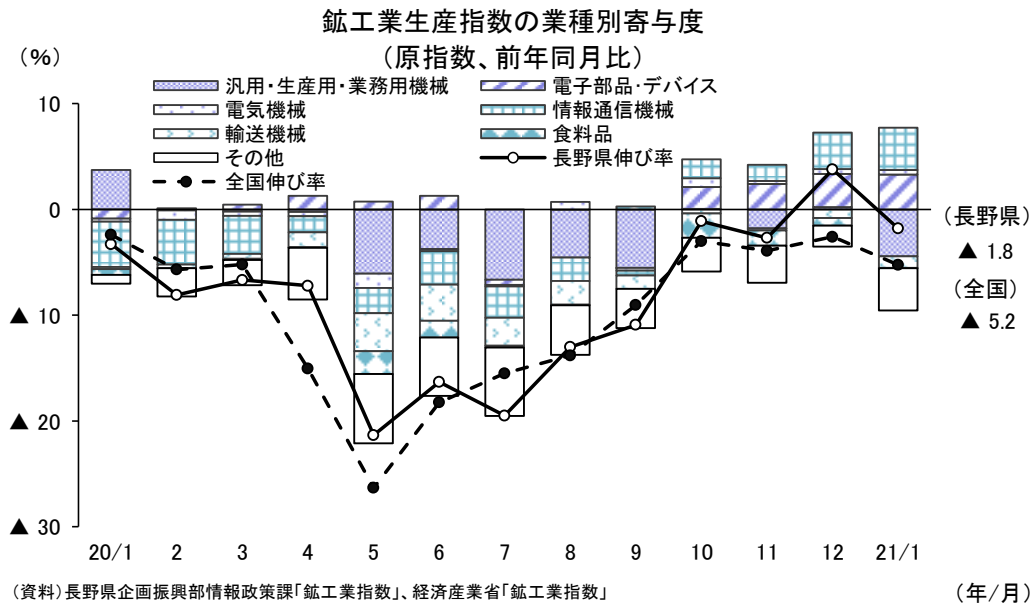
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

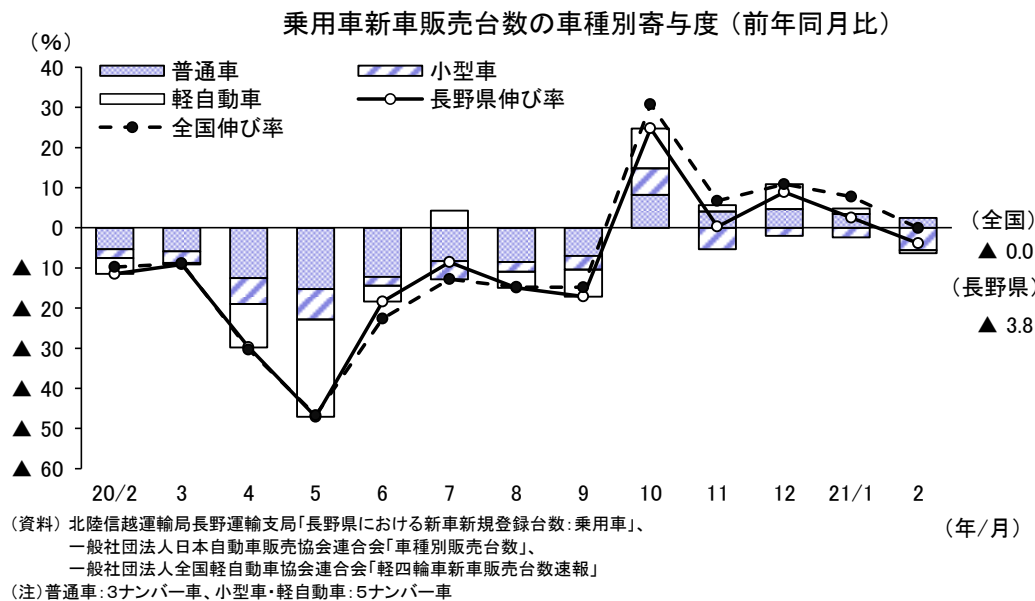
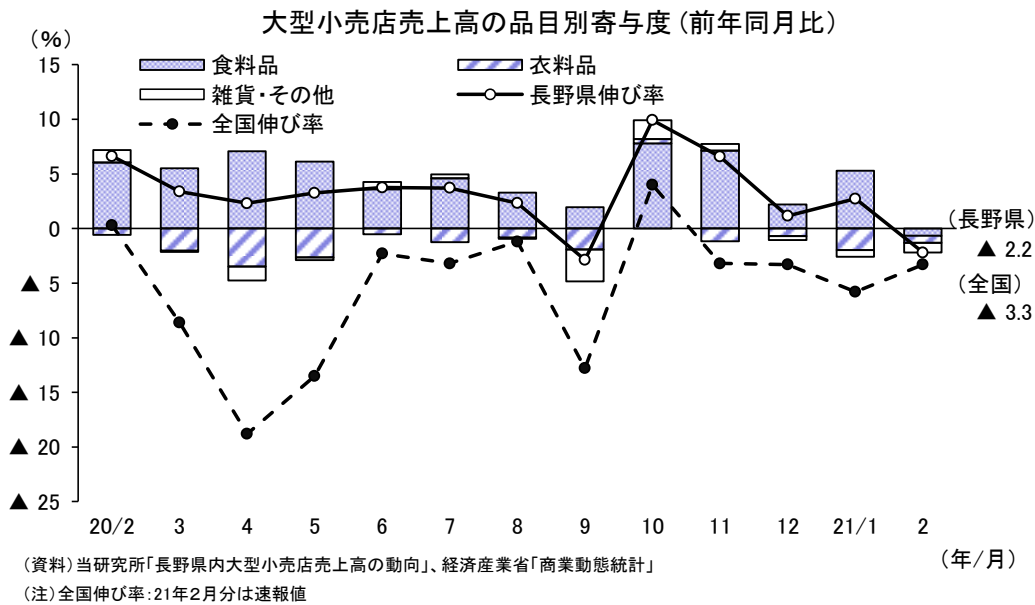
生産は持ち直している

- ・1月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△1.8%、季節調整済指数が前月比+4.5%となった。
- ・原指数は2カ月ぶりに前年を下回ったが、季節調整済指数は7カ月連続で前月を上回った。中国を中心とした外需の回復により、生産は持ち直している。
- ・主要業種別にみると、電子部品等の「電子部品・デバイス」や、民生用電子機械等の「情報通信機械」などは前年を上回ったものの、産業用ロボット等の「汎用・生産用・業務用機械」や自動車部品等の「輸送用機械」は前年を下回った。



大型小売店売上高は5カ月ぶりに前年を下回る

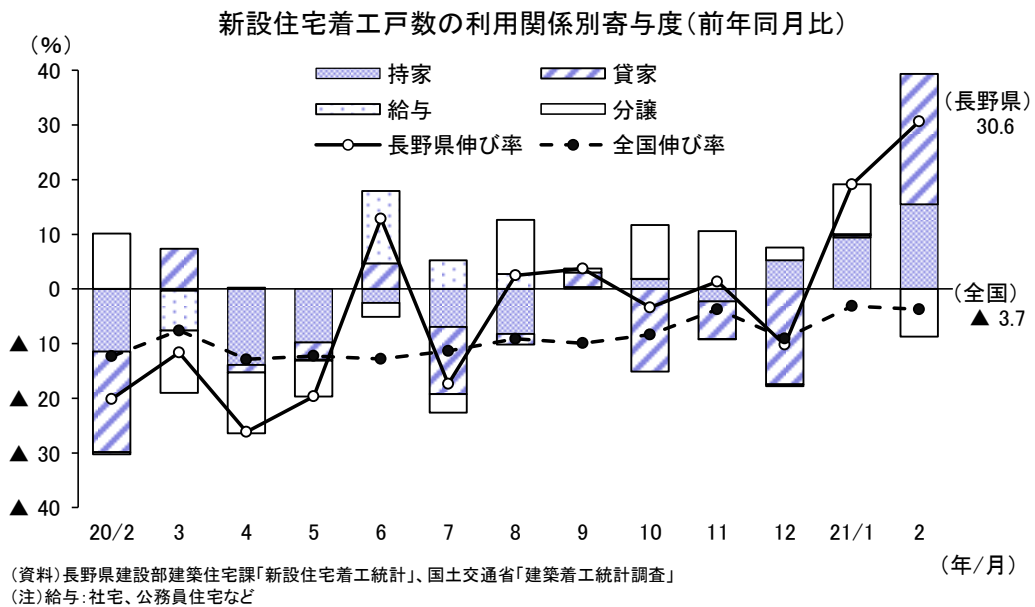
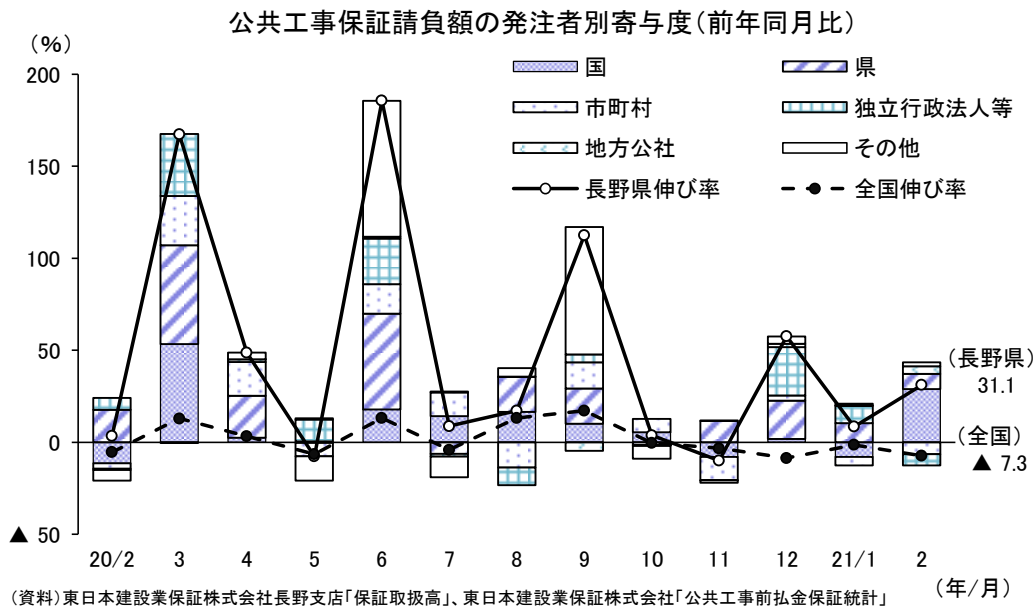
- ・2月の大型小売店売上高は、前年同月比△2.2%（売場面積調整前）となり、5カ月ぶりに前年を下回った。食料品は、新型コロナ感染防止のための内食需要により堅調だったものの、前年がうるう年だったこともあり、同△0.8%だった。衣料品は、外出控えなどによる来店客数の減少で、同△12.3%だった。雑貨・その他は、衛生用品などの需要が大きく伸びた前年の反動減もあり、同△8.9%だった。
- ・2月の乗用車新車販売は、前年同月比△3.8%と5カ月ぶりに前年を下回った。普通車はSUVが好調で同+8.8%と5カ月連続で前年を上回ったが、小型車は同△20.1%と4カ月連続で前年を下回り、軽自動車は同△1.6%と5カ月ぶりに前年を下回った。



建設投資

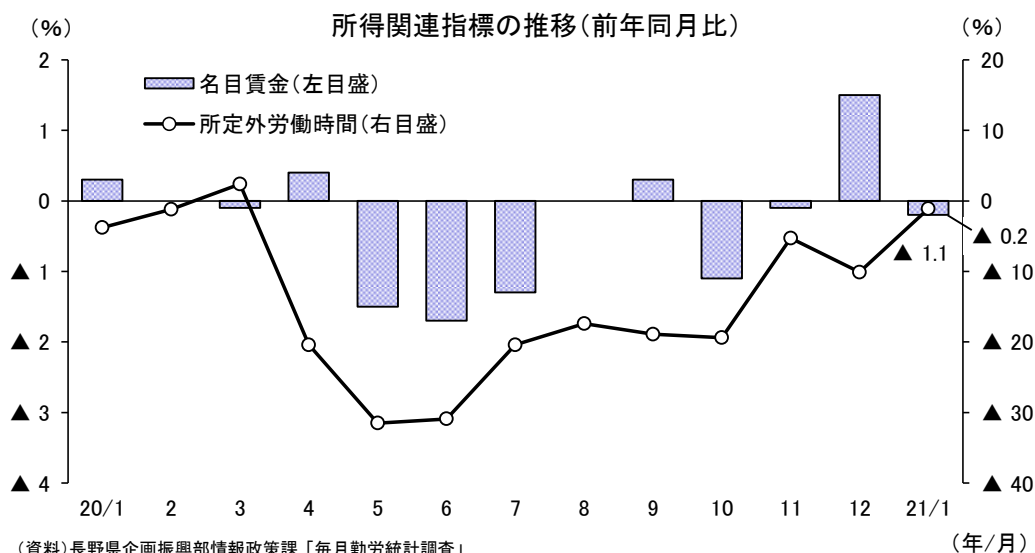
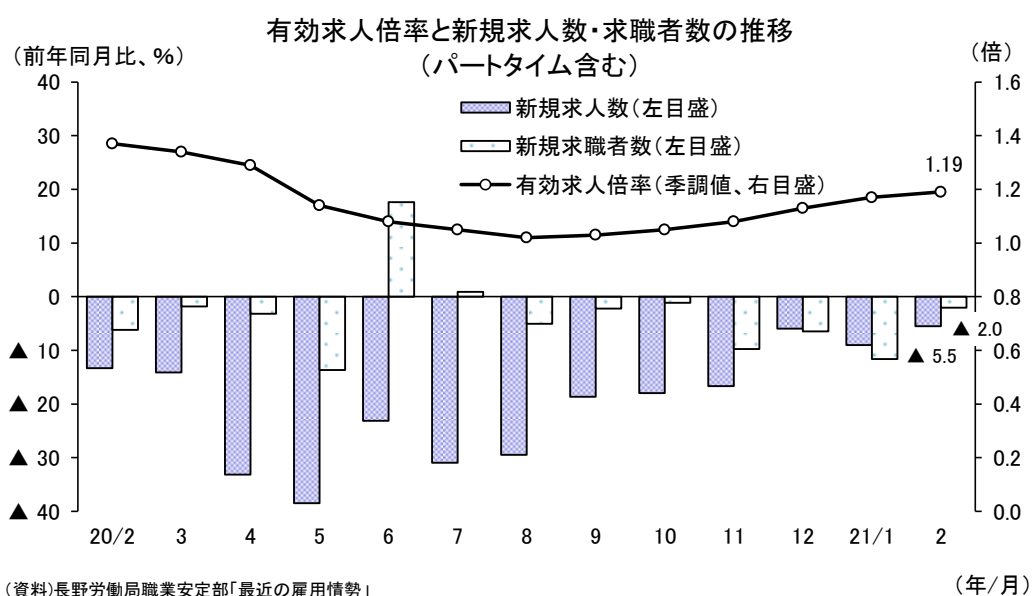
公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を上回る

- ・2月の公共工事保証請負額は、前年同月比+31.1%の137億5,900万円となり、3カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、市町村が同△17.9%、独立行政法人等が同△94.4%と減少したが、国が同+248.3%、県が同+17.7%、その他が同+1,144.1%と増加した。
- ・2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+30.6%の793戸と2カ月連続で前年を上回った。利用関係別にみると、分譲は同△31.5%と減少したが、持家が同+27.7%、貸家が同+146.5%と増加した。



有効求人倍率は6カ月連続で前月を上回る

- ・2月の有効求人倍率は前月比+0.02ポイントの1.19倍と、6カ月連続で前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△5.5%となり、24カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△6.9%、パートは同△10.4%となった。産業別では、建設業が同+19.0%、製造業が同+6.8%と前年を上回ったものの、宿泊業・飲食サービス業が同△22.0%、医療・福祉、卸売業・小売業がいずれも同△11.6%となるなどで前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△2.0%と7カ月連続で前年を下回った。
- ・1月の名目賃金は前年同月比△0.2%と2カ月ぶりに前年を下回り、所定外労働時間は同△1.1%と10カ月連続で前年を下回った。



(注)1. いずれも従業員規模5人以上の共通事業所のみを集計
2. 名目賃金の前年同月比は、きまって支給する給与の実額比較による

県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は5カ月連続で全国を上回る

- ・2月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.14ポイントの1.36倍、東信が同△0.15ポイントの1.37倍、中信が同△0.27ポイントの1.20倍、南信が同△0.16ポイントの1.20倍となった。18カ月連続で全ての地域で前年を下回った。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、大町が0.95倍と5カ月ぶりに1倍を下回った。
- ・長野県の有効求人倍率は5カ月連続で全国を上回り、順位は前月と変わらず19位であった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(21年2月)

地域	北 信(1.36) (前年同月比▲0.14)				東 信(1.37) (前年同月比▲0.15)		中 信(1.20) (前年同月比▲0.27)			南 信(1.20) (前年同月比▲0.16)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.50	1.30	1.05	1.20	1.39	1.36	1.21	1.54	0.95	1.22	1.15	1.22
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.15	0.04	▲ 0.37	▲ 0.30	▲ 0.02	▲ 0.26	▲ 0.24	▲ 0.34	▲ 0.49	▲ 0.17	▲ 0.14	▲ 0.17
うち常用	1.33	1.27	0.94	1.13	1.13	1.37	1.07	1.52	0.95	1.14	1.03	1.14
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.19	0.03	▲ 0.31	▲ 0.22	▲ 0.16	▲ 0.23	▲ 0.21	▲ 0.30	▲ 0.25	▲ 0.16	▲ 0.18	▲ 0.23

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

